荘内日報
SHONAI NIPPO
鶴岡
'17.9.-5

おもてなしセレクション県内初

鶴岡市大塚町のオーセンエンジニアリング（佐藤将社長）が企画・販売する「玉川小町シルクと白樺の無添加手練り石けん（極）」＝写真＝が、「OMOTENASHI Selection（おもてなしセレクション）2017」を受賞した。県内からは初受賞。大手広告代理店などでつくるOMOTENASHI NIPPON実行委員会が主催する同賞は、「おもてなしの心」があふれる日本の優れた商品・サービスを発掘し、世界へ発信するもの。2014年度にプロジェクトが立ち上がり、通年で4期に分けて公募し、品部門には425商品のエントリーがあり、今回の4国内外の選定員が審査して選考している。期では全国の62商品が受賞同社によると17年度の商した。

鶴岡のオーセンエンジニアリング 手練り石けん

同社のせっけんは秋田八幡平の溶岩（焼山石）、庄内町のハーブ研究所スパールのハーブ、ニュージーランドの蜂蜜「マヌカハニー」を素材に、石油系や防腐剤など化学物質を使用せず、白樺の樹液だけで手練りした製品。80㌘（練り時）、2667円（税別）で販売している。

受賞に佐藤社長は「肌の悩みを抱えている人にお薦めの一品。日本を代表する『おもてなし石けん』として、国内外のさらに多くの人に使ってもらえるようにしていきたい」としている。